

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	第1しょうとく園		
○保護者評価実施期間		令和6年11月19日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 50
○従業者評価実施期間		令和7年3月1日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日		令和7年4月25日	

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を配置し、個々の発達特性に応じた、より専門的な支援ができている。	個別支援と集団支援の両方のアプローチから、専門職が関わり、保育との連携も取れている。	保護者の要望もあり、言語聴覚士を増員することで、個別訓練の頻度を増やしていく。
2	園舎老朽化のため、令和4年度に建て替えを行ったが、新しい建物と設備により、より子ども達が安全で楽しく遊べる環境になっている。	園庭に遮光ネットを張る等による熱中症対策や、指導訓練室の指詰め防止規則等、設計時に設備の工夫がなされ、安全対策ができている。	動犯カメラの設置により、けがや事故が起きた時の検証ができるようになっており、今後も安全の配慮や業務改善につなげていく。
3	機能訓練・言語訓練について、在籍児が周囲した後の時間で、地域貢献として、在籍児以外の方に以外にも、個別訓練を提供している。	通所支援利用後のフォローとして、訓練を継続しているが、保護者とともに来園されることで、就園・就学後の相談にも対応できている。	職員が増えることで、受け入れの範囲が広がり、より地域のニーズにこたえられるよう、関係機関とも連携していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援センターに求められている中核機能としての取り組みは、まだ不十分。	加算算定要件については、心理職がないことが要因、そのほか具体的な取り組み内容が整理できていない。	地域の行政機関や事業所に見学案内をする中で、つながりを深めていくことから取り組んでいる。今後は地域のニーズを把握して、できることは何かを考えていく必要がある。
2	通園の時間が保育所等に比べて短いことから、就労されている保護者等からは、利用を見送られている例が多い。	通園範囲は広いことから、送迎時間を含めると、就業時間を超えてしまっているので、時間の延長は難しい。	延長支援の体制を評価されるようになったことから、当施設においても体制を整え、延長支援を実施していく。
3	医療ケア児の受け入れができる体制はあるが、送迎が出来ていないか、入園を見送られているケースもある。	看護師が常時送迎者に乗ることは難しく、バス内の医療ケア対応ができない。	経営実績の必要な児等、バス内の医療ケアが発生しない児については、別途送迎を考えるとともに、医療機関との連携を具体的に進め、送迎が出来る体制を整えていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	第1しょうとく園	公表日	令和2年5月1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		定員と設備の関係は適切である。 各室とも基準以上の面積で設計されている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		児童指導員等加配加算と専門的支援加算を算定できる体制を取っており、配置数は適切である。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		靴箱やロッカー、保管いすなどにマークを付けて子どもたちに見てわかるような工夫はしているが、すべての設備が構造化されているとは言えない。多目的トイレはあるが、個の位置が高く、車いすの方は届きにくい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の、清掃や玩具等の消毒をこまめに行い清潔と衛生を保っている。年齢別の保育だけではなく、各クラスとの合同保育や、絆割り保育など、子どもの特性や、人数に応じて選ぶことができる空間がある。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別での理学療法・作業療法・言語訓練を受けることができる環境を整えている。また、静養室等、状況に応じて、クールダウンできる部屋も整えている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		法人全体でQMS(品質マネジメントシステム)活動に取り組んでいる。年に1回の内部監査員からの監査もあり、PDCAサイクルが問題なく行なうことが出来ているか確認している。 国内でも、職員会議やリーダー会議、行事等の担当者会議等で、多職種からの意見も反映できるようにしている。 部門ごとに、年間で品質目標を設定し、毎月、全職員で進捗状況を共有している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年1回の満足度アンケートのほか、行事ごとにアンケートを実施し、意見を伺い、次年度に生かすことができるようしている。また、保護者会役員様からの意見もうかがい業務改善につなげている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		各種会議のほか、全職員に、育成面談や自己報告を行い、職員の改善案や希望等を聞く機会を設け、業務改善を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		1回／3年（R5年度受審）障がい・介護福祉事業支援協会により、第三者評価を受け、業務改善につなげている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		前年度の振り返りを元に、年間の研修計画を立案し、実施している。ショートスタディや専門職研修等、月数回のペースで内部研修を行っている。	
児童発達支援	11 適切に支援プログラムが作成・公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラム作成・公表手順にのっとり作成し、玄関ドアに掲示し公表している。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者から「要望書」に記入いただきたり、家庭訪問や懇談、電話相談等でニーズを把握し、アセスメントも行った上で児童発達支援計画を作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの権利の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		子どもの支援にかかる職員の意見を反映し、支援会議の中だけでなく、日ごろから子どもにとつて職員とは何かを考え意見交換し、支援内容を検討している。	

	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画やケース記録を個人別にファイリングし、いつでも職員が見ることができるようにして共有して、計画に沿って支援している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		独自のアセスメントシートや個人記録表を用いて、子どもの目標や行動の状況を確認している。	
適切な支援の提供	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援会議を行い、5領域を踏まえながら、具体的な内容を設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		行事担当等を決め、チームでプログラムの立案を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		5領域の中で、似らないようカリキュラムを組んでいる。予定していたプログラムに加え、出来が出てきたときはすぐに取り入れるなど工夫している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動での主な目標はADLの向上、集団活動を通してはコミュニケーション面や社会性の発達を目指す。支援計画を作成し、支援している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼にて全体で打ち合わせを行い、各部署やクラスごとにも情報共有を行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員終礼時に特に記する担当情報の共有をし、必要に応じて対策等を検討している。また、その都度気付いた点については関係者で共有できている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人記録表や訓練記録等を毎日記録し、支援の検証・改善につなげている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半期に1回、支援会議を開き、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援専門員や児童発達支援管理責任者、保育主任や訪問支援員等、子どもの状況を把握した職員が参画している。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各市町村ごとの関係機関と連携を取り、支援を行なう体制がある。	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		併行利用や移行に向けてという目的で支援は行っていない。併行利用の実施については、対象地域の連絡協議会で検討する必要がある。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		アセスメントシートでの情報提供や、見学を作ら引継ぎの実施及び学校で行われる引継ぎ会に参加している。	
	(28～30は、センターのみ回答)		○		自立支援協議会の会議等に参加したり、いくつかの通所支援事業所との連携を図ったりしているが、地域全体の質の向上に向けた取り組みとしては不十分なところがある。
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		全員が、1回/年以上は、職員のスキルや経験年数に応じた外部研修を受けることができるよう計画し実施している。また、外部から講師を招き、専門性を高める研修を受けている。	
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		地域の要保護児童対策地域協議会及び子ども部会、子育てネットワーク会議に参加している。	
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				

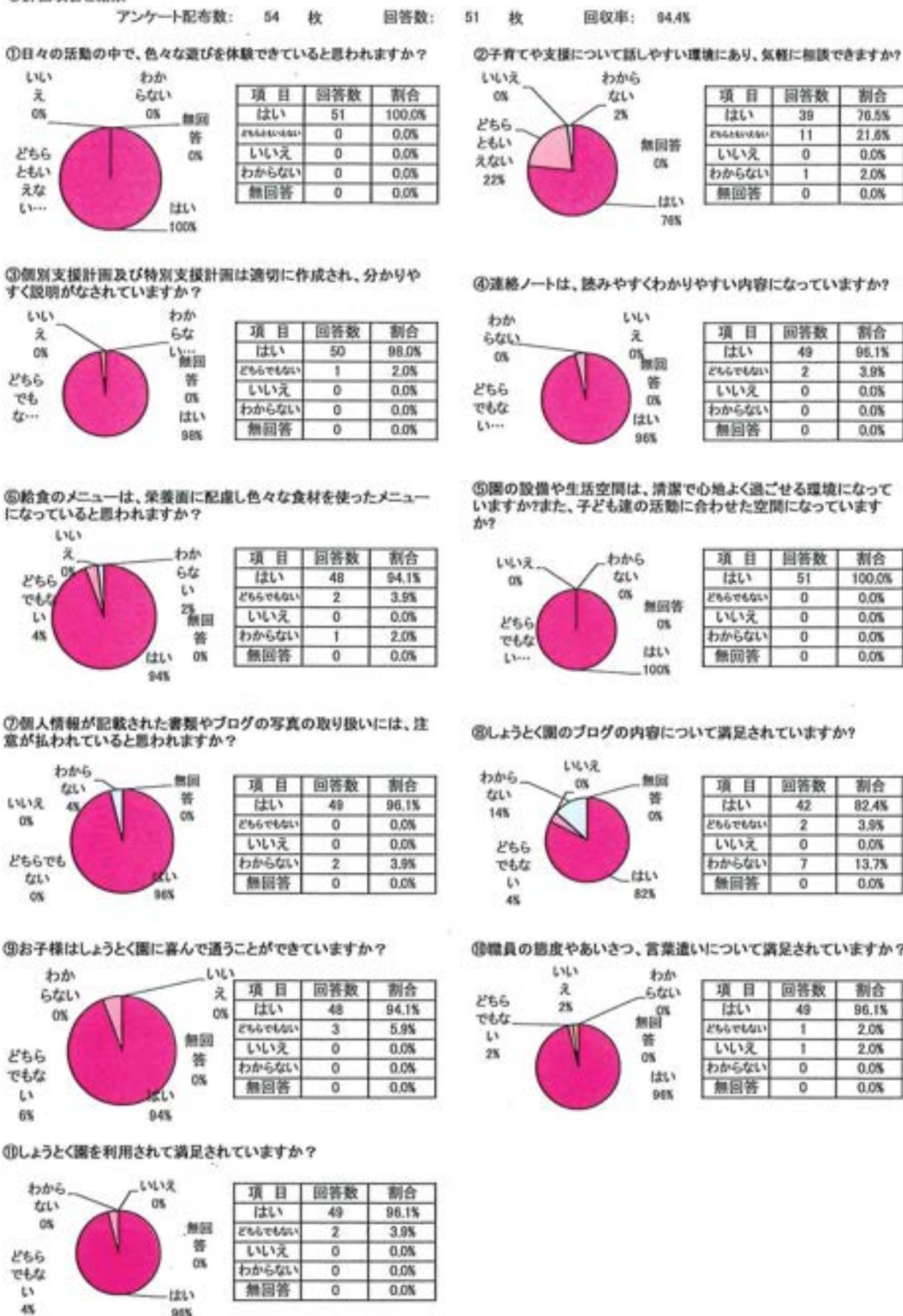
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		年長児を対象に子ども園との交流を設けている。また、フェスティや移動動物園等の行事を催す中で交流の機会を設けている。	
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		普段の連絡ノートや電話連絡のほか、定期的に個人懇談や家庭訪問・道路相談等を実施し、助言や支援を行う中で共通理解を得ている。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		保護者や職員がきょうだい児を中心に関わるプログラムを行い、家族支援にあたっているほか、保護者会の企画による勉強会に職員が講師として参加している。	
保護者への説明等	35 職業規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		入園時に重要事項説明書にて、説明を行っているが、支援プログラムについては開示のみ。
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの趣向の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の趣向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		保護者から「要望書」にご記入いただいたり、家庭訪問や懇談、電話相談等でニーズを確認している。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		家庭訪問や、懇談時に支援計画書と一緒に見ていただきながら、説明させていただき同意をいただいている。	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		普段の連絡ノートや電話連絡のほか、定期的に個人懇談や家庭訪問・道路相談等を実施し、助言や支援を行っている。	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		保護者会での活動を通して保護者同士の連携をとっておられる。保護者会の開催にあたり、連携・相談等、支援している。保護者ときょうだい児達が一緒に遊ぶことができる時間を設けている。	
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		定期的な個人懇談、道路相談の機会を設定するとともに、保護者が希望された場合は、専門医の発達相談も受けられる体制を取っている。その他の相談は随時受け入れて対応している。	
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		年間行事予定、毎月の保育だより、行事案内、メール配信による行事予定、3ヶ月ごとの法人新聞の発行、日々の連絡ノート及びブログにより、情報伝達を行っている。	
	42 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		法人の個人情報保護規程に基づき、管理できている。また、定期的に研修を行っている。	
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		ルビ振り英訳説明書等の作成、多国籍言語に対応できるよう翻訳アプリやメールでの連絡、ひらがなでの連絡ノート記入等で対応している。	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		令和6年度は、移動動物園を再開し、地域住民にご参加いただいた。また、卒退園式との交流を図る祭りの行事も開催した。	
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	マニュアルを作成し、職員には携帯版を配布している。また、避難訓練は内容を覚えながら毎月実施しており、ブログにて保護者にも訓練の様子や内容を発信している。	家族へのマニュアルの周知は未実施。
	46 業務相続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		定期的に、地震・火事・不審者侵入を想定した避難訓練を行っている。また、災害用の食品を実際に子どもたちに提供する取り組みも行っている。	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		契約時に健康状態に関する書類の提出や聞き取り、管理医師による検診を実施している。	
	48 食物アレルギーのあるこどものために、医師の診断書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		対象児の主治医の指示のもと対応し、園のアレルギー対応マニュアルに基づき、事故防止対応を行っている。	

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練。その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画を作成し、周知している。毎月の自主点検や訓練も行っている。現場面では専門業者による点検修理も行っており、安全管理の中で支援を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		入園説明会や保育便り、行事ごとのご案内等で周知している。また、園内のロビーに掲示している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハット事例は、その都度情報共有し、毎月・また半年に1回、データの分析を行っている。事故等を未然に防ぐためにも積極的に報告することを奨している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止委員会を設置し、体制を整えている。全職員を対象に研修を行っているほか、適切なかかわり方や虐待につながるような行為について、毎月の職員会議で意見交換し、権利擁護についての意識を高める取り組みを行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		「身体拘束等適正化のための指針」を策定し、それに基づいて対応している。保護者に説明し、了解を得て個別支援計画書に記載している。	

令和7年度 第1しようとく園 利用者満足度調査に伴う自己評価結果

○評価方法:利用児保護者のアンケート実施(R06.11/19~11/25)、結果集計をもとに自己評価を行う。

○評価項目と結果



※その他の意見及びまとめ

昨年度に引き続き、子ども達が毎日、通園を楽しみにしていること、職員の接遇態度が気持ちいいこと等、一定の評価を得られている。通園バスの乗車時間が長いことについてもご意見を頂いているが、通園範囲が広く、物理的に短縮がむつかしい面もある。言語聴覚士の増員も求められているが、募集をかけても応募がない状況である。(7年度途中より1名配置予定)

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 聖徳園 第1しょうとく園 保育所等訪問支援事業所						
○保護者評価実施期間	令和 6年 10月 21日 ~ 令和 6年 11月 30日						
○保護者評価実有効回答数	(対象者数)	26人		(回答者数)	20人		
○従業者評価実施期間	令和 6年 11月 1日 ~ 令和 6年 12月 27日						
○従業者評価実有効回答数	(対象者数)	8人		(回答者数)	7人		
○訪問先施設評価実施期間	令和 6年 10月 21日 ~ 令和 6年 11月 30日						
○訪問先施設評価実有効回答数	(対象者数)	20人		(回答者数)	17人		
○事業者向け自己評価作成日	令和 7年 4月 1日						

○分析結果

	事業所の強み(何)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組み等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援センターに通っていた子どもたちだけではなく、地域内の保育所や小学校に通う子どもの保護者、先生方からの希望があれば、すぐに相談に乗る等対応している。	・訪問支援について要望があった場合、保護者からの情報を得ると共に、訪問先施設に了解を得て、児童発達支援管理責任者と担当者が子どもの様子や訪問先の環境を見学させていただく。また、訪問先の先生方からの聞き取りも合わせて行なっている。 その上で、訪問支援の必要性の判断をしたり、団り感に対して相談にのったり等、迅速な対応を行なっている。	・職員のスタッフで訪問支援を行う為に、必要としているケースの対応が直ぐに行える環境を整えていくよう、利用者に対して適切な支援の頻度や支援時間等考慮しながら、新規を受け入れられるよう体制を整えていく。
2	・児童発達支援センターに他職種(相談員・ST・PT・OT・Ns)のスタッフが常駐しており、訪問スタッフがいつでも相談出来る環境がある。	・支援計画の作成や訪問先での専門外の課題で対応に困った時には、他職種のスタッフからアドバイスを受けてより良い支援ができるようにしている。また、専門職(ST・PT・OT・Ns)からの研修を受けて知識の向上を図っている。	・訪問支援員間で勉強会を行ったり、センター内外の研修を受けたりする等、更なる支援員の質の向上に努めていく。
3	・訪問時、保護者や訪問先施設に実施記録を渡し、情報提供を行なっている。	・関係機関と連携を図り、必要に応じて担当者会議に参加し、より良い支援の方向性について話し合う機会を設けることもある。 それにより、保護者・支援先と共に理解をして、支援に繋げることができている。	

	事業所の弱み(何)だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
1	・支援開始前や支援終了後に、職員間での打ち合わせや振り返りが実施できていない時がある。	・営業時間と同時刻に支援先に向かう為、当日の朝は事前打ち合わせは難しい。また、訪問先から帰属の時間が様々などや、事務処理を優先しないといけない為、振り返りの時間が取れないことがある。	・前日までには打ち合わせができるように、支援員増員、支援時間の見直し、地域ごとに支援先をまとめる等工夫をし、打合せの時間の確保に努めていく。
2			
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 社会福祉法人聖徳園 第1しょうどう園 保育所等訪問支援事業						公表日 令和7年5月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点、改善が必要と思われる点、等	課題や改善すべき点
利 用 者 対 応 ・ 施 設 運 営 ・ 保 育 方 法	訪問支援に使用する料金制度は適切であるか。	○	子どもたちにじぶん料金制度が交換しても、引き取いで問題なしである。	・直前に手渡す場合は問題ないことで、授業に集中しないでいるようにしていくことが、今後の課題である。		
	利用者に対する、職員の配慮が適切であるか。	○	・今までの経験を活かして、職員の配慮が適切である。	・今までの経験を活かして、職員の配慮は適切なのだが、それでも年齢差での配慮を実現する事が出来ない。	・職員に対する課題は適切なのだが、職員の配慮を実現していくためには、年齢差を考慮して進めるよう、人材配置を検討していく。	
	施設運営にかかるOCASAIカルド申請は適切に扱っているか。	○	・月に1回、品質目標や支店評議の振り返り、各部の設定を行なっており、会議等では施設課、生徒係員、児童管庫係も参加し、目標・経過・振り返りについて話し合いできている。	・今年度よりアンケート実施によって今後課題はながら、保護者や支援者から本人の想いを伺って聞いており、意見書を提出したり、毎回定期で意見を把握している。	・今年度からアンケート実施によって今後課題はながら、保護者や支援者の意見につなげ、利用者の期待に沿えていきたい。	
	保護者の質問を把握する機会を設けているか。	○	・保護者の質問を把握する機会を設けており、その内容を確認する機会を設けている。	・保護のなかで、支店が問題を把握する機会は多くないけれど、それが話し合いをして改善につなげている。		
	第三者による外部評議を行い、評議結果を実務部署につなげているか。	○	・第三者評議を実践全般で実施している。			
職 務 承 認	職員の職務の範囲を認定する機会が確保されているか。	○	・職員の職務の範囲を認定する機会が確保されている。	・職務の範囲を認定する機会は多くないため、今後の課題である。	・職務の範囲を認定する機会は多くないため、今後の課題である。	
	職員の職務の範囲を認定した上で、評議を受ける機会や生人内等で評議を実施する機会が確保されているか。	○	・職員の職務の範囲を認定した上で、評議を受ける機会や生人内等で評議を実施している。	・職員の職務の範囲を認定した上で、評議を受ける機会は多くないため、今後の課題である。	・職員の職務の範囲を認定した上で、評議を受ける機会は多くないため、今後の課題である。	
	会社のニーズや課題を意識的に分析した上で、保護者等の問題を解決しているか。	○	・会社のニーズや課題を意識的に分析している。	・職員のアセスメントツールを活用し、評議を実施している。個別実施評議者は今後幅広く実施事業所と連携していく必要がある。	・職員のアセスメントツールを活用し、評議を実施している。個別実施評議者は今後幅広く実施事業所と連携していく必要がある。	
	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童外遊支援管理制度は確立ではなく、こどもの実態に合わせる職員が外遊申請の下で、子どもの部署の担当者を委嘱した場合が行われているか。	○	・保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童外遊支援管理制度は確立ではなく、こどもの実態に合わせる職員が外遊申請の下で、子どもの部署の担当者を委嘱した場合が行われている。	・職員は外遊計画の実施員・実施員ともに複数名で担当している。併にはばね員にも複数名の様子を聞き取ったうり、担当者会議を開催し、チームで実施を行なっている。	・職員は外遊計画の実施員・実施員ともに複数名で担当している。併にはばね員にも複数名の様子を聞き取ったうり、担当者会議を開催し、チームで実施を行なっている。	
	保育所等訪問支援計画作成する際には、既往実績の担当者と連携し、既往実績や担当等の意向を盛り込んでいるか。	○	・同じは外遊計画と共に実施へ行き実績を記録したり、実施先の意向を聞き、盛り込んだりしながら、支援計画を作成するように努めている。			

11	保健所専門家会議が開催場所に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	・計画に沿つて実現している。また、最終的にサポートが終業をベースに調査している。
12	ごどもの進む行動の改善、進歩をさせたツールを用いたフォーマルなアセスメントや行動改善なども含むインプットアーマルはアセスメントを使用する等により複数しているか。	○	・独自のアセスメントシートを使用しており、子どもが状況を把握するにはこどりする内容のアセスメントシートである。また、施設院の運営組織なども運営の方から直接してもらいたい旨にしている。
13	保健所専門家会議が開催場所に沿った支援が行われているか。	○	・ガイドラインについても勉強会を行ない、内容を理解し支援内容を学んでいる。
14	保健所専門家会議が開催場所で利用され、計画に沿つた支援が行われている。	○	・児童会と共有しながら会議に出た支援を行なっている。
15	支援員だけではなく、職員や会議参加者について情報を、チームで確認して支援を行なっているか。	○	・医療機関等に直接前に支援者に見かうので、当日の施設担当者合わせて詳しく説明し、各自までできるふう工夫している。ワークス会議やセンターへの参加への参加は、個別分野で見ており、他の支援員にも周知している。
16	支援員たるには、職員等で必ず打ち合わせを行い、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。	○	・週で振り返りはできている。支援員同士は支援者がどちらが担当者であればあり過ぎながら、支援方法を共有したり、支援内容や保護者に対するついて話し合うようにしている。
17	保健所専門家会議を実施する際、院外外の環境や支援手法を尊重し支援を行なっているか。	○	・コミュニケーションを取りながら、施設外の環境や支援手法を尊重し、その中で音楽の支援を開始している。
18	毎回の会議に質問して討論をとることを意識し、実施の率は・改善に繋げているか。	○	・必ず会議記録を取り、実施の率の振りきらいを意識して率直につなげている。
19	定期的に保護者や院内専門職の意見やモニタリングを行い、情報交換等を会議の構成の必要性を判断し、適切な対応をして行なっているか。	○	・半年に1回会議を行なっている。
20	障害児専門事務局のサービス担当者会議や保健課会議などの会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○	・毎回の会議や会議で、保護者も支援や丁寧な対応が可能なアースは特に意識を取っている。
21	定期・月別会議の実行の際には、保護者や学校などの場で、会議の運営、運営調整、保健、教育等の関連機関と連携して会議を行う体制を整えているか。	○	・情報共有を図り、多く他の子たちよりもより深く理解できるよう、開催場所等の問題を解決していく事が、改善していく必要がある。
22	音楽・肢体活動実行の際には、保護者や学校などの場で、会議の運営と音楽実験を図っているか。	○	・アース会議を運営するよう、スクールアルモンティ等で、外部研修を積極的に受けていく必要がある。
23	質の向上を図るため、職場にて専門や専門外の会議を受けており、職員を外部会議に参加させているか。	○	・職場にて参加している。
24	自己支援組織子ども部会や市議会の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	・会議に出席して電話会議をしているが、通話がうまくできない場合には、手話通訳を取ったりしている。しかし、実際の会議場外に通話がつかない保護者の方もおり、課題が残る。
25	日頃からこどもの状況を保護者に伝えているか、や保護者について共感理解をもつているか。	○	

26	家庭の対話が他の親上位者と競争だから、家庭に対して誰が主導権を持つかでアレント・トレーニング等や家庭等の参加できる形態の親権や情報収集等を行っていますか。	○	○	・行なっていない。	・今までの親の行動である。
27	通常家庭、利用者負担について丁寧な説明を施すのがなっていいか。	○	○	・親の説明、運営規定について瞭解し、利用者負担については苦労でも伝えている。	
28	訪問者負担について、事業の運営や訪問支援の目前について説明に該当の説明を行っているか。	○	○	・パンフレットと共に丁寧に説明している。	
29	保護者等が受援計画を作成する際には、こどもや障害者の個性の尊重の尊重、子どもの尊厳の尊重や優先考慮の尊重の尊重を図り、こどもや保護者の意向を理解する機会を設けているか。	○	○	・保護者の想いは尊重する、子どもの想いは自尊の尊重の尊重の中での想いを尊重してやっている。	
30	「保護者等訪問支援計画書」を示しながら受援内容の説明を行って、保護者から保護所等が受援計画書の同意を得ているか。	○	○	・必要に応じて電話連絡等で行なっている。	
31	定額料金、医療等ひたち子育ての悩み等に対する相談一窓式に通じ、医療や必要な助言を行っているか。	○	○	・医療だけではなく電話や手紙でも相談にのっている。電話だけでではなく、医療からの様子を伝えたり、できるようになつたことや課題などこれまでに連絡を取っている。	
32	父母の自分の活動を支援することや、全般の会話を尊重する等によく、保護者同士で支援する機会を設ける等の支援をしているか。	○	○	・保護者同士が定期的にして懇親会を開けていないが、定期開催セミナーとして懇親の場所を伝えていている。	
33	ごどもや保護者からの相談の申し込みについて、初期の相談を尊重するところに、どちらの保護者に通じない、相談の申し込みがめったに通じないところに、どちらの保護者に通じないところに相談しているか。	○	○	・保護者のどちらの相談や申込みがあつた場合は、迅速に対応している。	
34	定期的に講習などを経験することで、HPやSNSなどを活用するなどにより、活動運営や連絡体制等の実務をこどもや保護者に対する対応をしているか。	○	○	個人情報の取り扱いから、保護者等が認知症に対しては配慮していない。	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	○	・十分留意している。	
36	障害のある子どもや保護者との連絡の頻度や連絡伝達のための記録をしているか。	○	○	実績記録に記入。より丁寧に支援・出張が必要な状況には、お手紙や電話、家庭訪問で想いを汲み取ら事実確認を取っている。	
37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○	○	・対象が少いのが実情、訪問先からの通り手に相談にのり、必要な助言をしている。	
38	保護者等訪問支援の実務者に定期的外郭カンファレンスを行っているか。	○	○	・支店幹部など定期開催がつかないにどがあるが、できるだけ開催をするふうにしている。	・支店幹部など定期開催であるため、カンファレンスの開催をどう確保するのか今後の課題である。
39	保護者等訪問支援の実務者に、実績等へ実際に支店が何等の開拓を行っているか。	○	○	・実績記録で伝えたり、必要に応じて電話連絡をしたりしている。	
40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	○	・十分に留意している。	
41	訪問支援の取扱いに適切に適切に、連絡体制を整えながら、専門的知識を行っているか。	○	○	・相談に対して相談し対応するふうにのがわっている。	・今までの親の行動である。
42	基幹的コミュニケーション、緊急時対応マニュアル、緊急時マニュアル、緊急時対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、再生を想定した訓練を実施しているか。	○	○	・緊急時対応マニュアルがあり、緊急時対応マニュアルには、緊急時のマニュアルに従うのであれば、職員として書いていていいのかと思つ。・それぞれの文書共にマニュアルがあるが、訓練には参加していない。	

半 時 考 点	43	安全計画を作成し、安全管理課に必要な情報や訓練、その他の必要な指図を講じる等、安全管理課が十分された上で実施が行われている。	<input type="radio"/>	* 実施幹部会議センターに実施している。
	44	ニヤリハットを事業所内で実行し、高見原江に向けた万葉二つ巴で検討している。	<input type="radio"/>	* 仮面市等巡回支援中のビアハッドはほぼ無いが、見直後支援センター一括で記述している。 想定し、対応している。 また、高見原江などで燃焼光で危険性した事案を職員間で共有している。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をされている。	<input type="radio"/>	* 用途別幹部会議センターで意見会を設置し、支店員も参加し虐待防止に努めている。
	45	どの種類の場合にやむを得ず会社説明を行うかについて、組織別に決定しこどもや保護者に事前に十分説明して了解を博だうえ、児童支援計画に掲載している。	<input type="radio"/>	* 挑別を許さないなど、重要な事項には複数しており、具体的に保護者へ説明をしている。
	45		<input type="radio"/>	

*ご協力ありがとうございました



セグメント
監督
人
聖徳園

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

社会福祉法人聖徳園 第1しょうどうく園 保育所等訪問支援事業

公表日 令和7年5月1日

利用回数 26名 6年 12月 5日 回数 20

		チェック項目	はい	どちらともない えどない	いいえ	わからぬ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制・制度	訪問支援に使用する器具類が整えられていますか。	9	0	0	10	1	・支援中は見ましたことが無いのでわかりません。	・質問紙回答の情報を踏まえながら、より良い支援体制が るように今後も努めます。
	プライバシーに配慮された対応が整えられていますか。	16	0	0	4	1	・個別の声でも尊重して下さいました。	・センターでは個別対応ができる設備があります。支援 先では、相談させていたいときはお断りせちまっています。 今後ともプライバシーに配慮していきます。
	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	20	0	0	0	1	・思います。	
	保育所等訪問支援の運営の特徴について、相談の上更にされていますか。	18	2	0	0	1	・電話がありませんが十分に聞いていただいている。	・電話の状況や支援内容の影響を踏まえ日々日程や 開設を設定しております。保護者の問い合わせに喜びやご持 論等はいつでもお聞きをお受けします。遠慮なく申し 出ください。
	ごとの状態に応じた支援が提供できる体制や人材体制だと思いますか。	17	1	0	2	1	・保護園もの運営で先生も子育て多いので育児は両立して いると思います。	・毎月例会で巡回指導を行っています。センターにおける問題の スタッフもあり、保護者では対応困難な場合は、情 報を利用し対応します。訪問利用者も豊富ですが、 が多いためには、お待ちいたくともあります。 支援員を増員しながら必要な方のニードにお届えでき るように努めています。
	ごとのことを十分に理解し、ごとの特徴等に応じた専門性のある支援を受けていると思います。	20	0	0	0	1	・曾ではなく文部省のが定めるタイプ等毎日気づき見 直していく必要があります。	・ビューラーニングに沿って高い専門性を持ち支援ができる よう努めています。
	ごとのことを十分理解し、ごとの特徴等のニーズや課題等を 的確に分析されだ上で、保育所等訪問支援支援計画書が設定 されていると思いますか。	20	0	0	0	1	・本当に良く見て下さっています。	・安心して支援を受けていますよう、お子様や保 育者に寄り添つて支援に努めています。
	保育所等訪問支援計画書には、訪問支援手帳用紙等 の専用が盛り込まれていると思いますか。	16	0	0	4	1	・専用の手帳のやり取りは把握しておりません。	・訪問支援計画書には専用とお読みでしたり、お読みしてます実 施記録を残しまして、情報共有を行なっております。
	保育所等訪問支援計画書には、保育所等訪問支援ガイドラインの 「保育所等訪問支援の提供すべき内容」も記載されていますか。	17	0	0	1	1	・責任者に計画してくださいます。	・専用支援計画について、この点を含めて改善の方がある がありましたら、いつもお声掛けください。
	保育所等訪問支援計画書に盛った支援がなされていると思います か。	20	0	0	0	1	・思います。	
	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に記載した支援方 式においていると思いますか。	19	0	0	1	1	・他の事例に名づけてして下さっていると感じています。	・いつもお電話等訪問支援をご面倒をおかけしますが、 ありがとうございます。
	事業者を担当する際に、運営規定、利用者負担等について丁寧な 説明が行われましたか。	20	0	0	0	1	・ありました。	・ご不満な点がありましたら、いつもお声掛けください。
	「保育所等訪問支援計画」を示しましたが、支拂料金の説明がなさ れましたか。	19	1	0	0	1	・されました。	・ご不満な点がありましたら、いつもお声掛けください。

14	事業所で、家庭に対する支援をプロフェッショナルとしているですか。	8	1	1	8	• 昼間は家庭で未就寝です。	• 朝はお子様の対象のお子様に、家庭医学のこれまで お伝えさせていたいところがあります。現在、ご家庭 にご参加いただける研修会や情報誌等がございませんが 開催はお知らせいたしました。	
15	必要なご用意・ごもの状況を説明できていると感じますか。 知識の次第、講義について共通理解ができていると感じますか。	20	0	0	0	• 支援前後にご連絡くださいと聞かれて下さって います。	• 今後も開拓開拓を行なうながら、日々の支援へご参りますので、に専門をよくしてお使いいたしま す。	
16	定期的に、お子様でご興味のある分野等の支援を行なっていますか。	19	0	1	0	• 説明してくださいとあります。 • 締めくくりて下さり取りまとめてくださるのでとても ありがたい。	• 今後もお子様や保護者に安心して過ごせますよ う、支援を行なってまいります。	
17	事業所の職員から定期的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0	• とても思います。	• 今後もお子様や保護者に安心して過ごせますよ う、支援を行なってまいります。	
18	こどもや家庭からの相談を申し込みについて、対応の速さが遅 れていますなどともに、こどもや保護者に対してそのような感があ ることについて周知・説明され、電話や申し入れした際には速 かつ確に対応されていますか。	19	0	0	1	• 地域に育むいつもも定期的でくださっています。	• 速い点があると思いますが、今後もより良い方 面に向けてまいります。	
19	こどもや保護者の対応の速さや質がなぜがなされ ていると思いますか。	20	0	0	0	• 思います。	• 今後も支障なく情報共有を行ないながら、引き続き連 携に努めてまいります。	
20	事業所は、訪問支援がからの相談に重に感じ、お困りな点を充 実が行われていると思いますか。	19	0	0	1	• 困難の先生からの感がうどでも方になって下さってい ると思っています。	• 困難にご対応しておられます訪問支援の先生に引きまし て情報共有を行なつております。不図する際は、お職 場にて情報共有を行うことでもあります。	
21	保護所等が現実問題を抱えていると感じますか。 について話し合いが行われていると思いますか。	18	0	0	2	• 選ばれているのは、主任の方から新田さんあります。	• 困難に抱えていると感じますが、お仕事の際に引きまし て情報共有を行なつております。不図する際は、お職 場にて情報共有を行うことはあります。	
22	保護所等が現実問題を抱えていると感じますか。	20	0	0	0	• 毎回、結果と電話で詳しくして下さっている。	• 自己評価については、今後ホームページで発信させて いただく予定です。	
23	定期的に連絡やホームペーパー等で、現実問題や現状を抱持 の情報を定期的に発信する自己評価の実績をどこまで実現を対して お思われていますか。	10	0	0	10	• その連絡問題で書いていました。	• 現場の感想についてでは、今はもう十分意識していると 思います。	
24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0	• 思います。	• センターにはマニュアルがあります。支援先では支援 先の指示やお客様に合わせます。支援先の緊急時対応に ついても内容を覚うようにします。	
25	事業所では、緊急時の対応について説明会を開催し、実際に されるようにしていると思いますか。	10	0	0	10	• 支援できていません	・保護者や事業所のリスク管理について保護者 と共に子どもたちが、安心して過ごせるように生産を 払つて頂きます。	
26	事業所によりごとの必要な情報が十分に行なわれていると感 いますか。	17	0	0	3	• 毎回来て下さるのを大喜びで先生のことも大好きで す。自分だけの経験は先生が来るごとに嬉しい想っている	・技術によって支援を行なう受け止め方や関係の自など 受け止め方に違いがあります。子どもの状態を受け 止めながらに取り組んで、一人ひとりに寄じた支援を 行なっています。	
27	事業所の支援に満足していますか。	19	1	0	0	• こちらが思つたことをくみ取り、工事に学びて聞いて いただけでもうれしいです。	・今後もお子様へひとりで乗り切ります。	
28		20	0	0	0	・大きがどうございます。	・大満足です。ありがとうございます。	

公表

社会福祉法人聖徳園 第1しょうとう園 保育所等訪問支援事業

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	16	1	○		<ul style="list-style-type: none"> いつも具体的なアドバイスを聞き実際を取り入れたいと申します。 専門性においては、具体的又早速の見通しからの助言を頂き即座に応じました。 運動会の取り組みについて皆への支援の仕方や留意点等専門的な視点からアドバイスをもらつた。 しようと園の先生も子どもたちと関わってくれて、お友達言い方伝え方などとても勉強になりました。 どの関係づくりも本当に教えて頂きたいと思います。 的確なアドバイスを頂いています。 	<ul style="list-style-type: none"> 運がいいお言葉ありがとうございます。 今後も支援先の方々に、より具体的に分かりやすい説明や支援ができるよう心がけるとともに、支援先の方々の話にしつかり耳を傾けていきます。 ご不明な点等ありましたら教えてください。
2	訪問支援員に対する知識・技術等に満足していますか。	17	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 他の体の様子や所産に合った脚り方を伝えてもらっている。 活動それぞれの見るポイントを教えてもらいました（に飯をかき込んでいるのはどうなのかななど） 知識もあり経験豊富な力です。 	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございます。 今後どちらも知識・技術の向上を目指し研鑽していきます。お気づきの点がございましたらお声かけください。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	17	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 子供の成長にいち早く気づきその段階に応じて的確なアドバイスをちらえて助かっています。 訪問時に適切相談することで、児の姿を見ながら具体的に回答してくれる。 大きすぎる声を出してしまってお友達もびっくりしちゃうねと伝える等改善に向けてのアドバイスを沢山頂きました。 いろいろな質問に対して答えてくれます。 	<ul style="list-style-type: none"> お気づきの点がございましたらご連絡なく、お声かけください。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	15	2	○		<ul style="list-style-type: none"> 中々アドバイスを活かせずに進まないこともあります。対応が難しいことでも有るど思いますが、その都度、先生方の悩みを私試していけるように、一緒に支援方法を検討させてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況やタイミングに応じて支援方法は変わります。 具体的な助言をいただき頂き、実際に繋げ本ほの姿も見られるようになつた。 担任園は又は園内で解決できない事を相談出来て支援に繋がる。 戴いたアドバイスを元に保障を行っています。 子どものエビソードを送とぞそれの原因の対処方を詳しく教えてくれています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	16	1	○		<ul style="list-style-type: none"> 保護者との距離が近くなり連携して支援を行なっています。 大変満足しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 至らない点が多くあると思います。子どもたち一人ひとりが、集団の中で日々生き生きと過ごせるように、より一層支援に努めています。

公表日 7年 5月 1日

訪問先数 20か所 回数 17件

社会福祉法人聖徳園 第1しょうとう園 保育所等訪問支援事業

その他の、お気付きの点をご記入ください。	ご意見を踏まえた対応
<p>・本園での支援は、クラス裏面の児童保育者割に助言いたげるど思つていいと感じました。保育者に向けての助言が生なな支援であることが分かり少し落胆しました。園側の支援も歌いきるのでもっと強めに回りこども相談した際には専門職の判断を生かして回者くだけるのでもっと強めに回りこども相談したので、園長先生にもお伝えすることを心掛けでまいります。今後とも、お気づきの点がありますとお伝えいただけますと、より良い支援に繋げてまいりたい所存です。</p> <p>・時刻表や回数などこちらの割合に合わせて聞いていてることが多いかと存じます。</p> <p>・ご希望がありましにら遅刻なくお声かけください。調整させていただきます。</p> <p>・いつも里かく支援児を見守り続けて下さり、良い面や育つた面を褒めて賛美したり次へ樂がる助言をいたいでいる。具体的な支援方法も(食事)教えていただき送った私たちも、見通しを持つて支援を進めているところである。</p> <p>・時刻表が色々あるので、一斉指導、給食、トイレ、友達との関りなどそれそれの裏面で話をできることのが良いと思います。</p> <p>・毎回実施記録の記入が丁寧で分かりやすくて他の成長を感じられる。</p> <p>・月2回、異なる時間帯に訪問してくださいるので、遊びなど生活面の両方の相談ができるで支継に繋げられる。</p> <p>・担当児だけでなくご家族の方にも援助をいただき助けていただいています。</p> <p>・又、以下の手助けが必要な面児に対してもアドバイスいただき、職員一同感謝している程感謝させていただいています。</p>	<p>・奥重なご意見をありがとうございます。残念な気持ちにさせてしまい申し訳ありません。今後は、設定保育等、裏面での支援方法を先生方にお伝えさせていただきます。訪問時は、担任や援助の先生方に支援方法をお伝えするのみとなる部分がありましたので、園長先生にもお伝えすることを心掛けでまいります。今後とも、お気づきの点がありますとお伝えいただけますと、より良い支援に繋げてまいりたい所存です。</p> <p>・時刻表や回数などこちらの割合に合わせて聞いていてることが多いかと存じます。</p> <p>・ご希望がありましにら遅刻なくお声かけください。調整させていただきます。</p> <p>・いつも里かく支援児を見守り続けて下さり、良い面や育つた面を褒めて賛美したり次へ樂がる助言をいたいでいる。具体的な支援方法も(食事)教えていただき送った私たちも、見通しを持つて支援を進めているところである。</p> <p>・時刻表が色々あるので、一斉指導、給食、トイレ、友達との関りなどそれそれの裏面で話をできることのが良いと思います。</p> <p>・毎回実施記録の記入が丁寧で分かりやすくて他の成長を感じられる。</p> <p>・月2回、異なる時間帯に訪問してくださいるので、遊びなど生活面の両方の相談ができるで支継に繋げられる。</p> <p>・担当児だけでなくご家族の方にも援助をいただき助けていただいています。</p> <p>・又、以下の手助けが必要な面児に対してもアドバイスいただき、職員一同感謝している程感謝させていただいています。</p>

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	第2しょうとく園		
○保護者評価実施期間		令和6年11月19日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 50
○従業者評価実施期間		令和7年3月1日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日		令和7年4月25日	

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を配置し、個々の発達特性に応じた、より専門的な支援ができている。	個別支援と集団支援の両方のアプローチから、専門職が関わり、保育との連携も取れている。	保護者の要望もあり、言語聴覚士を増員することで、個別訓練の頻度を増やしていく。
2	園内着行化のため、令和4年度に建て替えを行ったが、新しい建物と設備により、より子ども達が安全で楽しく遊べる環境になっている。	園庭に遮光ネットを張る等による暑中症対策や、指導訓練室の指詰め防止機能等、設計時に設備の工夫がなされ、安全対策ができている。	防犯カメラの設置により、けがや事故が起きた時の検証ができるようになっており、今後も安全の配慮や業務改善につなげていく。
3	個別訓練・言語訓練について、在籍児が降園した後の時間で、地域貢献として、在籍児以外の方に以外にも、個別訓練を提供している。	通所支援利用後のフォローとして、訓練を相続しているが、保護者とともに来園されることで、就園・就学後の相談にも対応できている。	職員が増えることで、受け入れの範囲が広がり、より地域のニーズにこたえられるよう、関係機関とも連携していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援センターに求められている中核機能としての取り組みは、まだ不十分。	加算算定要件については、心理機能がないことが要因、そのほか具体的な取り組み内容が整理できていない。	地域の行政機関や事業所に見学案内をする中で、つながりを深めていくことから取り組んでいる。今後は地域のニーズを把握して、できることは何かを考えていく必要がある。
2	通園の時間が保育所等に比べて短いことから、就労されている保護者等からは、利用を見送られている例が多い。	通園範囲は広いことから、送迎時間を含めると、営業時間を超えてしまっているので、時間の延長は難しい。	延長支援の体制を評価されたようになつたことから、当面段においても体制を整え、延長支援を実施していく。
3	医療ケア児の受け入れができる体制はあるが、送迎が出来ていない為、入園を見送られているケースもある。	看護師が常時送迎者に乗ることは難しく、バス内の医療ケア対応ができない。	経営収益の必要な児等、バスでの医療ケアが発生しない児については、別途送迎を考えるとともに、医療機関との連携を具体的に進め、送迎が出来る体制を整えていく。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	第2しょうとく園	公表日	令和7年5月1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が児童支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		定員と設備の関係は適切である。各室とも基準以上の面積で設計されている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導員等加配加算と専門的支援加算を算定できる体制を取っており、配置数は適切である。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		靴箱やロッカー、保育いすなどにマークを付けて子どもたちを見てわかるような工夫をしているが、すべての設備が構造化されているとは言えない。多目的トイレはあるが、隣の位置が高く、車いすの方は届きにくい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の、清掃や玩具等の消毒をこまめに行い清潔と衛生を保っている。年齢別の保育だけではなく、他のクラスとの合同保育や、組割り保育など、子どもの特性や、入数に応じて遊ぶことができる空間がある。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別での療育法・作業療法・言語訓練を受けることができる環境を整えている。また、静養室等、状況に応じて、クールダウンできる部屋も整えている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		法人全体でQMS(品質マネジメントシステム)活動に取り組んでいる。年に1回の内部監査員からの監査もあり、PDCAサイクルが問題なく行なうことが出来ているが確認している。園内でも、職員会議やリーダー会議、行事等の担当者会議等で、多職種からの意見も反映できるようしている。部門ごとに、年間で品質目標を設定し、毎月、全職員で進捗状況を共有している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回の満足度アンケートのほか、行事ごとにアンケートを実施し、意見を伺い、次年度に生かすことができるようしている。また、保護者会役員様からの意見もうかがい業務改善につなげている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		各種会議のほか、全職員に、育成面談や自己報告を行い、職員の改善案や希望等を聞く機会を設け、業務改善を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		1回／3年(平成5年度受審)障がい・介護福祉事業支援協会により、第三者評価を受け、業務改善につなげている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		前年度の振り返りを元に、年間の研修計画を立案し、実施している。ショートスクエアや専門研修等、月数回のペースで内部研修を行っている。	
児童発達支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラム作成・公表手順にのっとり作成し、玄関口に掲示し公表している。	
	12 各々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者から「要望書」に記入いただきたり、家庭訪問や懇談、電話相談等でニーズを把握し、アセスメントを行った上で児童発達支援計画を作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの権利の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもの支援にかかる職員の意見を反映し、支援会議の中だけでなく、日ごろから子どもにとって最善とは何かを考え意見交換し、支援内容を検討している。	

親切な支援の提供	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画やケース記録を個人別にファイリングし、いつでも職員が見ることができるようにして共有して、計画に沿って支援している。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		独自のアセスメントシートや個人記録表を用いて、子どもの目標や行動の状況を確認している。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援会議を行い、5領域を踏まえながら、具体的な内容を設定している。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		行事担当等を決め、チームでプログラムの立案を行っている。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		5領域の中で、偏らないようカリキュラムを組んでいる。予定していたプログラムに加え、良案が出てきたときはすぐに取り入れるなど工夫している。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動での主な目標はADLの向上、集団活動を通してはコミュニケーション面や社会性の発達を目指すと掲げて、支援計画を作成し、支援している。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼にて全体で打ち合わせを行い、各部署やクラスごとに情報共有を行っている。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員終礼時に特記する面接情報の共有をし、必要に応じて対策等を検討している。また、その都度気付いた点については関係者で共有できている。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人記録表や訓練記録等を毎日記録し、支援の検証・改善につなげている。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半期に1度、支援会議を開き、支援計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援専門員や児童発達支援管理責任者、保育主任や訪問支援員等、子どもの状況を把握した職員が参画している。
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各市町村ごとの関係機関と連携を取り、支援を行う体制がある。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	併行利用や移行に向けてという目的で支援は行っていない。併行利用の実施については、対象地域の連絡協議会で検討する必要がある。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		アセスメントシートでの情報提供や、見学会や作業引連ぎの実施及び学校で行われる引連ぎ会に参加している。
	(28～30は、センターのみ回答)			
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。		○	自立支援協議会の会議等に参加したり、いくつかの通所支援事業所との連携を図ったりしているが、地域全体の質の向上に向けた取り組みとしては不十分なところがある。
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		全員が、1回/年以上は、職員のスキルや経験年数に応じた外部研修を受けることができるよう計画し実施している。また、外部から講師を招き、専門性を高める研修を受けている。
	30 (自立支援)協議会こども都会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		地域の障害児対策協議会及び子ども部会、子育てネットワーク会議に参加している。
	(31は、事業所のみ回答)			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			

32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		年長児を対象に子ども園との交流を設けている。また、フェスタや移動動物園等の行事を催す中で交流の機会を設けている。
33	日々からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		普段の連絡ノートや電話連絡のほか、定期的に個人懇談や家庭訪問・道路相談等を実施し、助言や支援を行う中で共通理解を得ている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者や職員がきょうだい児を中心に関わるプログラムを行い、家族支援にあたっているほか、保護者会の企画による勉強会に職員が講師として参加している。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○	入園時に重要事項説明書にて、説明を行っているが、支援プログラムについても掲示のみ。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの個々の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者から「希望書」にご記入いただきたり、家庭訪問や懇談、電話相談等でニーズを確認している。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		家庭訪問や、懇談時に支援計画書と一緒に見ていただきながら、説明させていただき同意をいただいている。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		普段の連絡ノートや電話連絡のほか、定期的に個人懇談や家庭訪問・道路相談等を実施し、助言や支援を行っている。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者会での活動を通して保護者同士の連携を図っておられる。保護者会の開催にあたり、連携・相談等、支援している。保護者ときょうだい児達が一緒に過ごができる時間を設けている。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		定期的な個人懇談・道路相談の機会を設定するとともに、保護者が希望された場合は、専門医の発達相談も受けられる体制を取っている。その他の相談は随時受け入れて対応している。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		年間行事予定、毎月の保育だより、行事案内、メール配信による行事予定、3ヶ月ごとの法人新聞の発行、日々の連絡ノート及びブログにより、情報伝達を行っている。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規程に基づき、管理できている。また、定期的に研修を行っている。
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ルビ振り契約説明書等の作成、多国籍言語に対応できるよう翻訳アプリやメールでの連絡、ひらがなでの連絡ノート記入等に対応している。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	○		令和6年度は、移動動物園を再開し、地域住民にご参加いただいた。また、卒園見送りとの交流を図る祭りの行事も開催した。
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	マニュアルを作成し、職員には携帯版を配布している。また、避難訓練は内容を変えながら毎月実施しており、ブログにて保護者にも訓練の様子や内容を発信している。 ※職へのマニュアルの周知は未実施。
46	業務連絡計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に、地震・火事・不審者侵入を想定した避難訓練を行っている。また、災害時の食品を実際に子どもたちに提供する取り組みも行っている。
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん发作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に健康状態に関する書類の提出や聞き取り、管理医師による検診を実施している。
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		対象児の主治医の指示のもと対応し、園のアレルギー対応マニュアルに基づき、事故防止対応を行っている。

非常時等の対応	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画を作成し、周知している。毎月の自主点検や訓練も行っている。職員会では専門業者による点検修理も行っており、安全管理の中で支援を行っている。	
	50 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		入園説明会や保育便り、行事ごとのご案内などで周知している。また、園内のロビーに掲示している。	
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハット事例は、その都度情報共有し、毎月・また半年に1回、データの分析を行っている。事故等を未然に防ぐためにも積極的に報告することを促している。	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止委員会を設置し、体制を整えている。全職員を対象に研修を行っているほか、過切なかかわり方や虐待につながるような行為について、毎月の職員会議で意見交換し、権利擁護についての意識を高める取り組みを行っている。	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、相場的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		「身体拘束等適正化のための指針」を策定し、それに基づいて対応している。保護者に説明し、了解を得て個別支援計画書に記載している。	

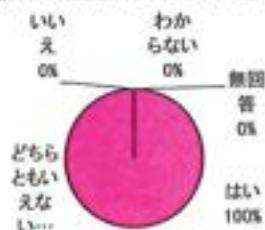
令和7年度 第2しようとく園 利用者満足度調査に伴う自己評価結果

○評価方法：利用児保護者のアンケート実施(R06.11/19～11/25)、結果集計をもとに自己評価を行う。

○評価項目と結果

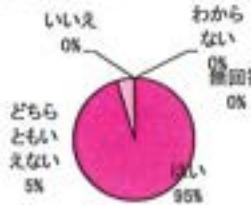
アンケート配布数： 21 枚 回答数： 21 枚 回収率： 100.0%

①日々の活動の中で、色々な遊びを体験できていると思われますか？



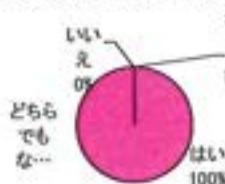
項目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからぬ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

②子育てや支援について話しやすい環境があり、気軽に相談できますか？



項目	回答数	割合
はい	20	95.2%
どちらともいえない	1	4.8%
いいえ	0	0.0%
わからぬ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

③個別支援計画及び特別支援計画は適切に作成され、分かりやすく説明がなされていますか？



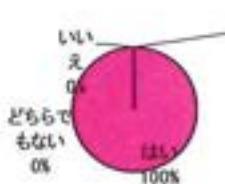
項目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからぬ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

④連絡ノートは、読みやすくわかりやすい内容になっていますか？



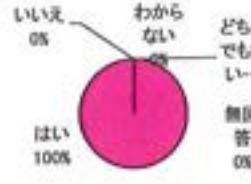
項目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからぬ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑤給食のメニューは、栄養面に配慮し色々な食材を使ったメニューになっていると思われますか？



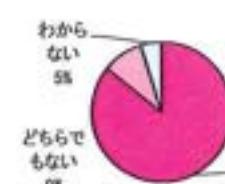
項目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからぬ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑥園の設備や生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっていますか？また、子ども達の活動に合わせた空間になっていますか？



項目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからぬ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑦個人情報が記載された書類やブログの写真の取り扱いには、注意が払われていると思われますか？



項目	回答数	割合
はい	18	85.7%
どちらともいえない	2	9.5%
いいえ	0	0.0%
わからぬ	1	4.8%
無回答	0	0.0%

⑧しようとく園のブログの内容について満足されていますか？



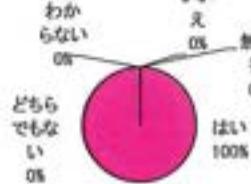
項目	回答数	割合
はい	18	85.7%
どちらともいえない	2	9.5%
いいえ	0	0.0%
わからぬ	1	4.8%
無回答	0	0.0%

⑨お子様はしようとく園に喜んで通うことができていますか？



項目	回答数	割合
はい	20	95.2%
どちらともいえない	1	4.8%
いいえ	0	0.0%
わからぬ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑩職員の態度やあいさつ、言葉遣いについて満足されていますか？



項目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからぬ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

⑪しようとく園を利用されて満足されていますか？



項目	回答数	割合
はい	21	100.0%
どちらともいえない	0	0.0%
いいえ	0	0.0%
わからぬ	0	0.0%
無回答	0	0.0%

※その他の意見及びまとめ

昨年度に引き続き、子ども達が毎日、通園を楽しみにしていること、職員の接遇態度が気持ちいいこと等、一定の評価を得られている。通園バスの乗車時間が長いことについてもご意見を頂いているが、通園範囲が広く、物理的に短縮がむづかしい面もある。言語聴覚士の増員も求められているが、募集をかけても応募がない状況である。(7年度途中より1名配置予定)

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人聖徳園 第2しょうとく園 保育所等訪問支援事業所						
○保護者評価実施期間	令和6年10月21日～令和6年11月30日						
○保護者評価実有効回答数	(対象者数)	34名		(回答者数)	25人		
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日～令和6年12月27日						
○従業者評価実有効回答数	(対象者数)	8人		(回答者数)	7人		
○訪問先施設評価実施期間	令和6年10月21日～令和6年11月30日						
○訪問先施設評価実有効回答数	(対象者数)	17人		(回答者数)	16人		
○事業者向け自己評価作成日	令和7年4月1日						

○分析結果

	事業所の弱み(※)だと思われる事 ※より強化・充実を図ることが期待される事	工夫していることや意識的に行っている取組み等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援センターに通っていた子どもたちだけではなく、地元内の保育所や小学校に通う子どもの保護者、先生方からの希望があれば、すぐに相談に乗る等対応している。	・訪問支援について要望があった場合、保護者からの情報を得ると共に、訪問先施設に了解を得て、児童発達支援管理責任者と担当者が子どもの様子や訪問先の環境を見学させていただく。また、訪問先の先生方からの聞き取りも含めて行なっている。 その上で、訪問支援の必要性の判断をしたり、困り感に対して相談にのったり等、迅速な対応を行なっている。	・限られたスタッフで訪問支援を行う為に、必要としているケースの対応が直ぐ行える環境を整えていくよう、利用者に対して適切な支援の頻度や支援時間等考慮しながら、新規を受け入れられるよう体制を整えていく。
2	・児童発達支援センターに他職種（相談員・ST・PT・OT・Ns）のスタッフが常駐しており、訪問スタッフがいつも相談出来る環境がある。	・支援計画の作成や訪問先での専門外の課題で対応に困った時には、多職種のスタッフからアドバイスを受けてより良い支援ができるようにしている。また、専門職（ST・PT・OT・Ns）からの研修を受けて知識の向上を図っている。	・訪問支援員間で勉強会を行ったり、センター内外の研修を受けたりするなど、更なる支援員の質の向上に努めている。
3	・訪問時、保護者や訪問先施設に実施記録を渡し、情報共有を行なっている。	・関係機関と連携を図り、必要に応じて担当者会議に参加し、より良い支援の方向性について話し合う機会を設けることもある。 それにより、保護者・支援先と共に理解をして、支援に繋げることができる。	

	事業所の弱み(※)だと思われる事 ※事業所の課題や必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
1	・支援開始前や支援終了後に、職員間での打ち合わせや振り返りが実施できていない時がある。	・営業時間と同時刻に支援先に向かう為、当日の朝は事前打ち合わせは難しい。また、訪問先から帰園の時刻が様々なことや、事務処理を優先しないといけない為、振り返りの時間が取れないことがある。	・前日までには打ち合わせができるように、支援員増員、支援時間の見直し、地域ごとに支援先をまとめる等工夫をし、打合せの時間の確保に努めていく。
2			
3			

公表 事業所における自己評価結果

公表日 令和 7 年 5 月 1 日

事業所名	社会福祉法人聖徳園 第2しょうじく園 保育所等訪問支援事業	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点、改善が必要と思われる点、手提袋やお盆やすべ地点
職 員	訪問支援に充用する就業規則は適切であるか。	○			・子どもたちにむけた就業規則を用意していることで、授業中に集中して授業に取り組むことがつらくなっていると感じる。子どもたちの実情に繋がり、授業中の姿にしろ軽く、支那所の先生の気持ちにまつている。
制 度	利用者課題に対する、職員の認識割合は適切であるか。	○			・今年度就業規則を体験しながら、それでも年度途中の所感を受けれる事ができず、実感者が不満している。
整 備	施設設備に対する設備点検は適切であるか。	○			・月に1回、品質目標の実現度合いの振り返り、目標の設定を行なっており、会議等では実現度、主任教育士、児童監督、児童虐待係係長も参加し、目標・経過・振り返事について話し合いができる。
機 械	施設設備の定期点検を実施しているか。	○			・今年度からアンケート実施についたので学年毎に、保護者や支那所から本人の想いを代わりて書いていたり、保護者自身が書いたり、毎月定期で意見を記録している。
改 善	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を実施改善につなげているか。	○			・会議の中、支那問題を対象に議論する場などはござらいないのか話し合いをして改善につなげている。
備 考	第三者による外部評議会を行い、評議結果を実施改善につなげているか。	○			・第三者評議会を開設会議で受けている。
6	職員の意識の向上を図るために、会議を実施する機会や会員入会等で会員を講習する機会が確保されているか。	○			・児童虐待センターの会員登録を実施している。 また、会員会やマースカンファレンスを行ない、質の高い講習会が多くないため、今後の講習会がある。
7	児童のニーズや課題を診断的に分析した上で、保育所等が診断計画を作成しているか。	○			・当園のアセスメントツールを活用し、計画を作成している。専別支那計画者は今後相談支援事業所と共に共有している。
8	保育所等診断計画を作成する際には、児童扶養・児童看護・児童虐待の専門職と連携して行なうか、こどもの実態に對応する職員が担当するか、	○			・担当児童員・その他の指導員・児童扶養・児童看護・児童虐待で担当している。尚には専門員にて事業所の様子を見回したり、担当者会議を開き、チームで会議を行なっている。
9	保育所等診断計画を作成する際には、児童扶養・児童看護の担当者と連携して行なうか、子どもの実態に對応する職員が担当するか、	○			・専門職の担当者が月に会議等へ行き実績を交換したり、会議中の意見を聞き、盛り込んだりしている。
10	保育所等診断計画を作成する際には、児童扶養・児童看護の担当者と連携して行なうか、	○			・専門職の担当者が月に会議等へ行き実績を交換したり、会議中の意見を聞き、盛り込んだりしている。

	障害者支援計画が実施時に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	・計画に沿って支援している。まだ、直前の段階で共有している。
11	ことの多い行動の次回も、標準化されたツールを用いたフロー マルなアセスメントや行動観察などを窓口フォーマルなアセ スメントを使用する等により補助しているか。	○	・施設のアセスメントシートを使用しており、子どもの状況を記述するにはこれまでの内容のアセスメントシートである。また、施設の担当者は子ども保護者の方から情報提供してもらい参考にしている。
12	障害者支援計画の提出は、医療的等認定のアセスメントシート等により補助しているか。	○	・ガイドラインについても朝検査を行ない、内容を理解し実践 内容を学んでいる。
13	障害者支援計画には、医療的等認定のアセスメントシート等の「保 寿所等認定支援の提供すべき具体的的内容」も踏まえながら、具体 的に支援内容が設定されているか。	○	・現状等と共にながら遡行に沿った支援を行なっている。
14	保健所等認定支援計画で共通され、計画に沿った支援が 行われている。	○	・医療機関と連携して支援先に届け合うので、当日の場合は事前に計 画を受け取ることが多いが、毎日までにできるよう工夫している。
15	支援計画には医療機関での打ち合わせを行い、その日行われる 支援の内容や依頼分野について確認し、チームで連携して支援を 行なっている。	○	・医療機関やセンターへの依頼への準備は、会議会合でできおり、 他の支援機関にも連絡している。
16	保健所等認定支援を実施する際、医療系の障害や支援手段を尊重 し支援を行なっているか。	○	・医療機関の連絡や支援手段を尊重している。医療専門士は医療機 関が軽症または新規登録を行なう場合に利用したり、支援 内容や障害者寸法について相談し合うようにしている。
17	毎回の支援に際して記録を行ない、気づいた点を共有しているか。	○	・必ず記録を取り、支援の履歴を行い定期等で確認・保 留につなげている。
18	定期的に保健師や認定者との連絡やセミナーやセミナー等で見直しを行なっているか。	○	・半年に1回程度見直しを行なっている。
19	保健所等認定支援の実施の見直しの必要性を判断し、遅めな見直しを行なっているか。	○	・施設の内が見直すや外が見直すが実施している。
20	保健所等認定支援のワーカーが担当者交替や異動期間などの変動に、 その子どもの状況をよく理解した形で対応しているか。	○	・週刊表が配りカーディナルカードや、児童養護施設や丁寧な対応が必要な ケースは特に意識を怠っている。
21	医療・保健師の担当の間に、医療・保健等の機関と連携して支援 を行なう体制を整えているか。	○	・医療担当者と連携を怠らないが、相互通報ができるくらいのルーズが必須で 連絡が密である。
22	医療・保健師の担当の間に、医療・保健等の機関と連携して支援 の向上を図るため、複数の医療・保健等から医療等を受 手たり、情報を外部紹介に参加させているか。	○	・医療の専門言葉を理解できなくて困ることもあるが、スクリュール訓練 会で専門用語を理解する等、改善していく必要がある。
23	障害者支援会子ども福音や地域の子ども・子育て相談等へ情 報的に参加しているか。	○	・情報的に参加している。
24	自らから子どもや親類の子ども・子育て相談等へ情 報について井汲情報をもつていているか。	○	・家庭にごくじて情報収集をしているが、家族がつまづいて問題を抱 っている、手帳を売ったり、電話連絡を取ったりしている。しかし、 実は井汲方に連絡がつかない保護者の方もいる、課題が残る。
25		○	

26	施設の外活動が家庭上で実施されるから、施設で別にして施設内を複数プロ グラムペアレント・トレーニング等、や認知等の参加できる研修 の機会や情報収集等を行っていますか。	○	・行きたいがない。	・今後の研修計画である。
27	防犯対策について、事業者の顧客や監視委員の皆様についてお聞き に取組を行っているか。	○	・施設は、運営状況について説明し、利用者負担についてお聞き でも伝えている。	
28	防犯対策について、事業者の顧客や監視委員の皆様についてお聞き に取組を行っているか。	○	・パンフレットと共に行事に説明している。	
29	保護者等が施設巡回を行なう際には、こどもや保護者の意見、こど もや保護者の意向を踏まえて、どこ まで保護者の意見の反映を踏まえて、どこ まで保護者の意見を踏まえているか。	○	・保護者の意見は重視せず、子どもの思いは自らの発見の中で 言いを織り交ぜている。	
30	「保護者等が施設巡回を行なう際には、こどもや保護者の意見の反映を行き、 保護者から施設巡回等の意見を守っているか。	○	・巡回に際して電話連絡等で行なっている。	
31	定期的に、施設等からの子育ての悩み等に対する相談に巡回に参 加し、面接や必要な勧言を行なっているか。	○	・巡回だけではなく電話や手紙でも巡回にのつている。相談だけ ではなく、自らからの手紙を伝えたり、できるようにならすこと や電話などこれまでに連絡を取っている。	
32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する際によ り、保護者同士で交流する機会を開ける等の支援をしているか、 また、世ようだい団体と交換する機会を設ける等の支援をしてい るか。	○	・保護者会が施設巡回として電話を回けていないが、実施料金を保 センターとして巡回会の導演に附めている。	
33	「こどもや保護者が自分の問題の申入れについて、対応の方法を説 明すること」に、こどもや保護者に満足して、満足の申入れれば あつた場合は迅速かつ適切に対応しているか。	○	・保護者のどちらの相談や申入れがあつた時は、巡回に對応し ている。	
34	定期的に講習などを実施することや、ドバイハルセイを活用するこ とにより、児童虐待や虐待未発覚の発見などこどもや保護者に對 して教育しているか。	○	個人情報を保護しながら、児童虐待の発見支援としては教育していいか い。	
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・十分留意している。	
36	隣町のあるこどもや保護者の問題等に限りないが、巡回に 申入れる。	○	・施設巡回会員は、より丁寧に巡回・巡回が重なる時には、片手は 電話、家庭訪問で無いときはみ取りながら巡回路線を描いてい る。	
37	防犯対策に加え、巡回元からの巡回の際の問題等に限りないが、巡回 に申入れる。	○	・対象への訪問時、巡回先からの通り事に相談にのり、必要な 効率をしている。	
38	保護者等が施設巡回の実務者に訪問支援等との連携や情報伝達のための配 置を行なっているか。	○	・巡回員との情報調整がつかないことがあるが、できるだけ話を するよううにしている。	
39	保護者等が施設巡回の実務者に訪問支援等との連携や情報伝達のための配 置を行なっているか。	○	・巡回員で伝えたり、必要に応じて電話連絡をしたりしてい る。	
40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・十分に留意している。	
41	巡回光景からの相談に適応にあり、個別対応を徹底ながら、専 門的な助言を行なっているか。	○	・相談に際して説明し尽すするよう努めている。	
42	巡回対応マニュアル、緊急時対応マニュアル、巡回タニユアル、 常用対応マニュアル等を用意し、音楽や歌謡等に興味あること もに、児生を想定した訓練を実施しているか。	○	・巡回対応マニュアルは、支障がある場合は、音楽として聞いても いいのと思う。 ・それまでの実施例にもマニュアルがあるが、訓練には参加して いない。	

		安全対策が低い、安全意識に必要な手配がなされ、その手配は指揮を握る者等、安全監督が十分された中で実施が行われているか。	<input type="radio"/>	・災害対策セミナーに参じている。
非常時等の 対応	43	ヒヤリハットを事実の中で共有し、再発防止に向けた方針について検討しているか。	<input type="radio"/>	・保育園等幼児施設や託児所にてヒヤリハットは言語化され、児童保護センターに報告している。また、園長会などでの地域内で開催された研修会で其前している。
	44	虐待を防止するため、園内の研修機会を確保する等、適切な対応を実行しているか。	<input type="radio"/>	・児童虐待支援セミナーで要員が各部署し、支援員も参加し虐待防止に努めている。
	45	どの職位担当にやむを得ず職務を行うに際して、組織的に決定した子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、児童虐待事件に報酬しているか。	<input type="radio"/>	・園長会議では実績していないが、重要な事項は毎年報告書には掲載しており、契約時に保護者へ説明をしている。
	46		<input type="radio"/>	

*ご協力ありがとうございました



社会福祉法人
聖徳園

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

社会福祉法人聖慈園 第2しようと園 保育所等訪問支援事業

		利用児数 34名	6年	12月	5日	園取次 25生	公表日 令和 7年 5月 1日
							ご意見を踏まえた評点
問題	チェック項目	はい どちらともい えない	いいえ どちらともい えない	わからぬ	わからぬ	ご意見	ご意見
1	認知支援に使用する道具類が整えられていますか。	12	1	0	12	「色々な道具類が用意されていて子どもも楽しく過ごせています。」	・教員教科の慣習化促進しながら、より良い支援に繋がるようになります。
2	プライバシーに配慮された取り扱いはありますか。	20	0	0	5	「センターでは個別対応ができる設備があります。児童一人一人に配慮してもらっています。今後どちらかサーに配慮していきます。」	・児童一人一人に配慮対応ができる設備があります。児童一人一人に配慮してもらっています。今後どちらかサーに配慮していきます。
3	事業の質的面の二段階評価でいると思いますか。	24	0	0	1	「学校サイドは、この制度を理解していない。先生が言っていた。」	・事務部門などの方も支援に付いて丁寧に伝えたいと思います。
4	保育所等訪問支援の経験や感想について、相談の二段階評価でありますか。	24	1	0	0	「万子園の状況や支援先の事情を聞く機会や日程や時間等はいつでもご相談をお受けします。遠慮なく申し出ください。」	・万子園の状況や支援先の事情を聞く機会や日程や時間等はいつでもご相談をお受けします。遠慮なく申し出ください。
5	このものの状態に同じじ支援ができる相員面接や人間体験など思いいますか。	22	1	0	2	「現在月1回の実績ですが、効率性を重じて毎月実績をもう少し上げられたら良いなと思います。」	・毎回月1回の実績ですが、効率性を重じて毎月実績をもう少し上げられたら良いなと思います。
6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に基づき専門性のある支援が受けられていると思います。	25	0	0	0	「よく知つてくださっているので安心しています。支援室に入ってきたら皆さんは乗りました。」	・子ども一人ひとりに丁寧に取り扱い、併別に苦労なく乗車に努めています。
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され以上で、保育所等訪問支援が設定されていると思いますか。	24	0	0	1	「子どもの状態とご対応は専門的で丁寧で安心しています。手への理解と頭へのフォローを丁寧にして頂いておりがたいです。」	・安心して支援専門性高い運営を行なっています。保護者に寄り添ってから支援を実施します。万子園や保育所等訪問支援への評議会等が開催されることが無いので、先生のニーズを聞いたことにが無いので
8	保育所等訪問支援計画計画(以下同)には、保育委嘱先や担任等の意見が盛り込まれていると思いますか。	19	1	0	5	「担任の先生がどう考えているか思つておられるがわからない。」	・巡回支援計画書について、ご不都合点や改良すべき点がありましたが、いつもお詫びください。
9	保育所等訪問支援計画計画(以下同)には、「保護所等訪問支援刀イドラインの「保護所等訪問支援の提供すべき最低限内容」も記載せながら、具体的な内容が記述されていると思いますか。	21	0	0	4	「保護所等訪問支援計画計画(以下同)には、保護所等訪問支援刀イドラインの「保護所等訪問支援の提供すべき最低限内容」も記載せながら、具体的な内容が記述されていると思います。」	・今度も万子園の様子や状況に合わせて支援に努めています。
10	保育所等訪問支援を実現するため、認定交付した支援が行なわれていると思いますか。	23	1	0	1	「保護所等訪問支援を行なう必要があります。」	・いつも万子園が多方面支援にご協力をいたしました。ありがとうございます。
11	わかれていますか。	24	0	0	1	「事業所を実現する際には、運営体制、施設構造等について丁寧な説明がありました。」	・ご不都合点がありましたが、いつもお詫びください。
12	説明がありましたか。	25	0	0	0	「保護所等訪問支援計画」を示しながら、支那の説明がなさ	・ご不都合点がありましたが、いつもお詫びください。
13	れましたか。	22	2	1	0	「保護所等訪問支援計画」を示しながら、支那の説明がなさ	・れました。

14	運営会で、実施に対して実施するプログラムペアレント・トレーニング等や運動等も参加できるが他者が指導教員の場合は行なわれていますか。	10	2	1	12	・実施会がおれば参加したいなど思います。
15	必要なときごどもの状況を保護者と伝えたり、ごどもの健康や育達の状況、運動について共通瞭解できていると思いますか。	25	0	0	0	・丁寧に説明もしてくださいます。 ・定期的によく連絡をくれるのでいろいろと相談できる。
16	定期的に、実施や子育てに関する知識等の実習が行なっていますか。	21	3	1	0	・出つた際にはアドバイスを聞いています。 ・定期的によく連絡をくれるのでいろいろと相談できる。 ・私の方から電話します。
17	事業所の職員から定期的に支援を受けていると思いますか。	25	0	0	0	・具体的かつ、児童のことでも見直しつつアドバイス等を聞いてます。家でも実践できます。 ・定期的によく連絡をくれるのでいろいろと相談できる。
18	こどちや家庭からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのふつうの相談があることについて質問・説明され、電話や申入れをして際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	0	0	2	・定期的によく連絡をくれるのでいろいろと相談できる。 ・翌日の問い合わせがありましたが、今後もぶり戻い度に来てもらっています。
19	こどちや保護者との定期的な連絡や定期的な面会の制度がなされていると思いますか。	24	1	0	0	・学校や幼稚園等ダイヤビースでのお子様の様子を担当教員へ報告してくださりありがとうございます。状況に応じて、今後も連絡に努めています。
20	事業所は、訪問支援専門からの相談に答えるといい、必要な相談を受ける権利が行われていると思いますか。	22	1	0	2	・訪問時にお話ししておりましたところにおきましては、お電話にて情報共有を行なうことがあります。今後も相談させていただきますが、より良い支援に努めています。
21	保健所等訪問支援を実施しているところはどこですか。	20	1	0	3	・隠し合いかつよりも開拓取めだと思います。
22	保健所等訪問支援を実施しているところはどこですか。	25	0	0	0	・自己評価については、「今後がホームベースで大切にしていくべきです」と大きく手書きです。
23	定期的に行き場やホール等で、家庭教育や保健指導等の情報や講習会に参加する自己評価の結果をどこでどちら保護者に見てもらっていると思いますか。	12	1	0	12	・定期的の面の面についてでは、今後も十分留意していく旨です。
24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	1	・センターにはマニュアルがあります。実施では保護者の同意や責任に合わせます。実施時の緊急時対応についても情報を傳うようにします。
25	事業所は、緊急時の対応について防災訓練を重視し、周囲で見るようにしていましたか。	15	0	0	10	・保護者や登校先のひとどリストを伝つて学園を構成してもらおうが、安心して過ごせるようになります。
26	事業所はこどもの安全を確保するために何が行なっていると思いますか。	20	0	0	5	・毎回行事に参えるのを楽しみにしています。 ・今年なのでも少しもじらいはありませんが強がってません。 ・通達している度を聞いて欲しいので思っていると思います。 ・子どもは先生の因縁を楽しみにしています。 ・すごくふるこんでいます。
27	こどもは定期的支援を受けていませんか。	23	0	2	0	

事業所の実態に満足していますが、	25	0	0	0	0	・現在の先生に会いにくいためも顧客にならなくていいでもらっています。学生達に不対が少ないと先生の印象がけです。 ・相談ができるので大変感謝している。 ・今後もよろしくお願いします。	・今後も丸子様一人ひとりに寄り添いながら、より良い実績に努めてまいります。
------------------	----	---	---	---	---	--	---------------------------------------

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

第2章 どうぞ、保育所等切壁支擡事業

チェック項目		ご意見			ご意見を踏まえた対応	
		いいえ	どちらともいえない	いいえ		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	16	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 対象児の目標を共有させてもらえた様子について一緒に考えました。ありがとうございます。 優しく丁寧に助言して頂きました。 	<ul style="list-style-type: none"> 誰かにお言葉ありがとうございます。 今後もよりよい支援に繋がるようになります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	16	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 我が部で最も見守っていました。 	<ul style="list-style-type: none"> ありがとうございました。 今後とも知識・技術の向上を目指し研鑽してまいります。 お気づきの点がございましたらお聞かください。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	16	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に相談しやすい雰囲気で対応して下さり感謝しています。 困ったことを相談させていただくと親身になって考えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> お受けつけください。
4	保健所等訪問支援を利用したことでの課題や保育所の課題などが解消または軽減されましたか。	13	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの課題はすぐに見えて解消されるものではないのですが長い目で見ると解消されています。 正直分からないです。 保護者の想いを訪問支援の方から聞くことができてありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健所等訪問支援にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。 おにしい中お話を頂戴してありがとうございます。 この地域に繋がるよう、機会を続けてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	14	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 支援について教えていただけの時期があればよい。 ここでの「支援」がどういうものかわからないです。 	<ul style="list-style-type: none"> 訪問時にお伝えさせていただけのことがあります。 したら、いつでもお声掛けください。
その他、お気付きの点をご記入ください。					ご意見を踏まえた対応	
					<p>・私がいるお言葉をいたしました又、お忙しい中、ご理解ご協力いただきありがとうございました。</p> <p>・授業時間内には勿論休み時間も休む事なく、子どもたちの為に動いておられ、お話をする時間が惜でないのは当然です。先生の方からご報告の良いお時間に毎回お聞きさせていたいと思います。</p> <p>・先生方から頂く情報は子どもたちの支援に欠かすことができません。先生方と一緒に情報交換しながら今後ともよろしくお願いします。</p>	